

# 視察報告

## 議会運営委員会

### 視察期間

平成27年8月11・12日

### 視察先と視察事項

○愛知県岩倉市

○大阪府大東市

議会改革の取り組みについて  
(議会基本条例の運用状況)

今回の視察先の2市は、早くから議会改革・議会活性化に取り組んでおられ、全国的にも有名な市です。我々土岐市議会としても、これらを視察・勉強することによって、さらに議会改革を進め、議会活性化のためになる様にと視察をしてきました。2市の視察の概要を報告します。

### 岩倉市

岩倉市は名古屋市の北に位置し、交通アクセスの良さに恵まれ、名古屋市のベッドタウンとして発展してきました。地域の狭さから人口密度は高いが、五条川の桜、戦国時代の歴史の香る(山内一豊の生誕地)「いいかんじ」の市でした。

視察事項での特色の1番目は、協

議会を使って協議・意見交換が活発に行われていることでした。2つの常任委員会(総務・産業建設と厚生・文教)に協議会が設置されており、所管事項の協議・意見交換・調整の場として活用されています。委員会で議案の審査をするのは当然ですが、さらに協議会を使い意見を出し合うこのシステムは効果的で、参考にすべきと思われました。常任委員会協議会は委員長の招集で開催され、定例会時の委員会議議だけでなく、委員長の判断でいつでも所管事項の協議、調整の場として設定できることは委員会・議会の活性化にとって大変に有効であると思われま

す。  
特色の2番目は、市民との接点が議会報告会と意見交換会の2本立てで実施されていることでした。議会報告会は一般市民を対象に年1回開催されており、意見交換会は3年前から開催されるようになり、一般市民に加えて各界の団体よりテーマを決めて意見交換の場として活用されていました。

特色の3番目は、議会基本条例を制定されていて、その実行状況を検証されていることでした。毎年、年度末に検証会を設け、その結果を「議会だより」に掲載して、市民の皆さんにみてもらうという事を実行されていて、大切なことだと思いました。

議会報告会、意見交換会、議会だよりでの基本条例検証結果の公表など、議会がやってきたこと、考えていることを市民の皆さんに理解していただく活動を大切に実施されていました。



▲大東市

### 大東市

大東市は文字どおり大阪市の東にあり、古くから農業が盛んでしたが、昭和になって大阪の近郊都市として、工場、事業所、住宅の著しい増加があり、12万の人口を持つ都市として発展してきました。

平成26年より通年議会を実施され、数多くの議会活性化策を実施されています。議員研修会の充実、職員との懇談会の開催、市民レポーターの設置等いろいろな事業を実行されています。岩倉市のところでも述べましたが、

大東市でも常任委員会に協議会が設置され、定期的に開催されており、当市でも取り上げるよう検討をしなければと思いました。

他の特色は、これも岩倉市と似ていますが、議会報告会と意見交換会の取り組みです。議会報告会は市域を東部・中部・西部の3地域にわけ、年1回開催されており、毎回30〜40人程で開催されていました。

内容は定例会の報告と質問という形で、最近では市民からの質問を聴くという傾向にあるようでした。政策意見交換会は議会報告会とは別に年1回市内1ヶ所で開催され、70〜100人規模で開催されていました。区長会など各種団体よりあらかじめテーマを決めて意見・要望を聞き、そのテーマに沿って質疑応答をし、最終的には市長に提言することを目的に実施されています。意見書などの議員提出案件が多くみられ、これらの活動の成果だと思われました。

特色のもう一つは、傍聴者増加対策の実施でした。各種団体に呼びかけて、一般質問のときに傍聴に来ていただくようお願いをされ、毎回50人程の傍聴者が実現していました。開催日を日曜日にしたり、夜間議会にしたり、また質問時間を工夫して傍聴がしやすいように努力もされていました。